

## ◆ 学会報告

寺澤捷年：常習頭痛の東洋医学的研究，日本東洋医学会第30回総会，1979. 5，東京。

## 薬 劑 部

教 授 堀 越 勇  
助 教 授 上 野 雅 晴  
助 手 妻 木 葉 子

## ◆ 研究概要

- 1) 粉粒体圧縮過程のレオロジー解析。
- 2) 医薬品分子間化合物の熱的解析。
- 3) セミプロトン溶媒中の有機塩基の構造解析。
- 4) 粉末医薬品中の水分の誘電特性。
- 5) リボゾームの製造とその薬剤効率の評価。
- 6) 血小板と薬物の相互作用。
- 7) 生物学的製剤の評価，とくに活性値，定量法，賦形薬による安定性の差異について。
- 8) 和漢薬による治療効果とHLC成分パターンの相関分析。
- 9) 患者に投与した薬物の血中濃度測定とその動力学的解析。
- 10) 熱力学的手法およびNMR測定による界面活性物質の溶液物性と構造の解析。
- 11) 分光学的手法によるイオノフォアのイオン選択機構および膜中での存在状態の解明。

## ◆ 原 著

- 1) Takeguchi N., Hattori M., Sano A. and Horikoshi I.: Intracellular potassium ion in relation to acid secretory rate by frog gastric mucosa. *Am. J. Physiol.* **237**: E51—E55, 1979.
- 2) 堀越 勇，森井孫俊，中林 晋，竹口紀見，木村昌行：打錠工程における薬剤の粘塑性挙動，薬学雑誌 **99**(4): 325—328, 1979.
- 3) Ueno M. and Kyogoku Y.: Conformational Difference in Cation Complexes of Tetranactin in Solution. *Biopolymers* **18**(11): 2645—2657, 1979.
- 4) Ueno M. and Kishimoto H.: Complex Formation Enthalpy of Tetranactin with Alkali Ions in Methanol. *Chem. Lett.* 1979: 1487—1490, 1979.

## ◆ 学会報告

- 1) 吉松清信，大垣順子，堀越 勇：局方塩化ベルベリン中の水分の吸脱着に関する誘電的研究，第3回製剤の安定化とその評価法シンポジウム，1979. 11，名古屋。
- 2) 清水正樹，上野雅晴，岸本 博：イソオクタ

ン相およびイソオクタン/水・界面における高級アルコールの状態，日本薬学会第99年会，1979. 8，札幌。

3) 竹内公人，上野雅晴，岸本 博：非水溶媒中における Aerosol 系界面活性剤ミセルの多分散性，日本薬学会第99年会，1979. 8，札幌。

4) 上野雅晴，岸本 博：NMRによる Aerosol 系界面活性剤溶液の研究，第32回コロイドおよび界面化学討論会，1979. 10，高知。

5) 西村嘉博，竹口紀見，堀越 勇：胃粘膜における塩酸分泌とアルカリ分泌，第17回生物物理学会，1979. 10，名古屋。